

## Case04 行政職、課長補佐級



管理職の仕事を  
漢字一文字で表  
すと？

『整』

### 入庁後のキャリアや身についたスキル

入庁当初は、管理部門に配属されました。定例的・機械的な業務が中心でしたが、当時はシステム化されていないものも多く、アナログな作業で対応することがよくありました。締切厳守の中、正確・迅速に対応する必要があったため、庁内に向けた案内・通知を行う際には少しでも分かりやすい文面となるよう工夫するなど、効率的に業務を進めるという視点を持つことを心がけていました。

その後、福祉部門に配属され、給付関係の担当をしていました。法や制度を踏まえ、公正・中立な対応を常に意識しながらも、相談者の困りごとに対してどのようなアプローチができるのか、市民一人ひとりに寄り添った相談対応を心がけていました。市民の方から感謝の言葉をいただくと、これからも頑張ろう！と力をもらえました。

再び管理部門に配属され、組織全体に関わるシステムの導入やルール の制定、所属間の調整に関わる業務などに携わりました。その間、庁内の多くの職員との関わりを持つことができましたし、現在もそうした人とのつながりを業務に活かすことができています。

同じ方向を向いて仕事をしてくれる人がいることはとても心強いです。現在の所属での業務においても、現状に満足しないように、もっと良い方法があるのではないか、そういった視点を忘れないよう日々の業務に向き合っています。

### 管理職としてどのような仕事をしていますか？

具体的な業務の話ではありませんが、自分の所属する「課の管理職」は当然のことではありますが、普段から「八尾市役所(組織)の管理職」という意識を持つように心がけています。自身の所属にとどまらず、できるだけ広い視野で物事を捉え、それに対し自分ができることは何かを考え、行動しています。

これまでのキャリアを振り返ると、挑戦させてくれる上司に恵まれていたと思います。部下である自分のアイデアを大切にしてくれただけでなく、リスク管理、トラブルへの対応案についても親身になって一緒に考えてくれました。これからは自分が管理職として、挑戦する部下を応援し、支えられる存在になりたいと思っています。

### プライベートとの両立について

夫婦で家事・育児を分担しながら仕事をしています。今後のキャリア、働き方について話をすることもあり、公私を問わず相談できる環境があることは助かっています。一方で、昇格することについては仕事と家庭の両立を考えると、正直ためらう気持ちもありました。

だからこそ、管理職として誰もが働きやすい職場環境づくり貢献したいと考えています。職責に関わらず、仕事とプライベートを両立できるような組織風土、職場環境づくり取り組むことが大切だと考えています。

### その漢字を選んだ理由は？

職員間の意見調整、さまざまな部署との調整など、管理職だからこそ行える「調整」が組織運営に非常に重要と考えており『整』を選びました。

分野横断的に何かを変える、これまでにない新しいものを生み出すきっかけをつくるなど、組織のマインドチェンジには管理職の役割が非常に重要だと考えています。

また、管理職として大切なことは、みんなが働きやすい環境を作ることだと思います。職員一人ひとり仕事に対する考え方も違う中、それぞれの個性と能力を発揮して組織としてどのようにして目標を達成していくのか、管理職として日々意識しながら業務に取り組んでいます。

八尾市職員を  
めざす方への  
メッセージ

今後デジタル技術がますます発展していき、行政サービスのデジタル化も急速に進んでいくと思います。一方で、人でなければできないことは必ず残り続けますし、それを担うことのできる人材が必要となります。

八尾市には、誰もが働きやすい職場環境をつくらうと努力している先輩職員、挑戦する部下職員を応援する上司がたくさんいます。

みなさんの思い、経験、スキルを活かして、八尾市職員として共に活躍していただけることを願っています。